A - Five Antennas

実行時間制限: 2 sec / メモリ制限: 1024 MB

配点: 100 点

問題文

AtCoder 市には、5 つのアンテナが一直線上に並んでいます。これらは、西から順にアンテナA, B, C, D, E と名付けられており、それぞれの座標はa, b, c, d, e です。

2つのアンテナ間の距離がk以下であれば直接通信ができ、kより大きいと直接通信ができません。 さて、**直接** 通信ができないアンテナの組が存在するかどうか判定してください。

ただし、座標 p と座標 q (p < q) のアンテナ間の距離は q - p であるとします。

制約

- *a*, *b*, *c*, *d*, *e*, *k* は 0 以上 123 以下の整数
- a < b < c < d < e

入力

入力は以下の形式で標準入力から与えられる。

$\mid a \mid$	
b	
c	
$\mid d \mid$	
e	
$\mid k \mid$	

出力

直接通信ができないアンテナの組が存在する場合は ':('、存在しない場合は 'Yay!'と出力せよ。

入力例1

1		
2		
4		
8		
9		
15		

Yay!

この場合、直接通信できないアンテナの組は存在しません。なぜなら、

- (A, B) の距離は2-1=1
- (A, C) の距離は4-1=3
- (A,D)の距離は8-1=7
- (A, E) の距離は9-1=8
- (B,C)の距離は4-2=2
- (B,D)の距離は8-2=6
- (B, E) の距離は9-2=7
- (C,D)の距離は8-4=4
- (C, E)の距離は9-4=5
- (D,E) の距離は9-8=1

そのように、全てのアンテナ間の距離が15以下であるからです。よって、'Yay!'と出力すれば正解となります。

入力例2

15 18 26 35 36 18

出力例2

:(

この場合、アンテナAとDの距離が35-15=20となり、18を超えるため直接通信ができません。よって、':('と出力すれば正解となります。

B - Five Dishes

実行時間制限: 2 sec / メモリ制限: 1024 MB

配点: 200点

問題文

AtCoder 料理店では、以下の5つの料理が提供されています。ここで、「調理時間」は料理を注文してから客に届くまでの時間とします。

• ABC 丼: 調理時間 *A* 分

ARC カレー: 調理時間 B分
AGC パスタ: 調理時間 C分
APC ラーメン: 調理時間 D分

• ATC ハンバーグ: 調理時間 *E* 分

また、この店には以下のような「注文のルール」があります。

- 注文は、10の倍数の時刻 (時刻 0, 10, 20, 30, . . .) にしかできない。
- 一回の注文につき一つの料理しか注文できない。
- ある料理を注文したら、それが届くまで別の注文ができない。ただし、料理が届いたちょうどの 時刻には注文ができる。

E869120 君は時刻 0 に料理店に着きました。彼は 5 つの料理全てを注文します。最後の料理が届く最も早い時刻を求めてください。

ただし、料理を注文する順番は自由であり、時刻0に注文することも可能とであるとします。

制約

• A, B, C, D, E は 1 以上 123 以下の整数

入力

入力は以下の形式で標準入力から与えられる。

 \boldsymbol{A}

B

C

D

E

出力

最後の料理が届く最も早い時刻を整数で出力せよ。

入力例1

29

20 7

35

120

出力例1

215

ABC 丼→ARC カレー→AGC パスタ→ATC ハンバーグ→APC ラーメン の順に注文することにすると、 各料理の最も早い注文時刻・届く時刻は以下の通りになります。

- 時刻 0 に ABC 丼を注文する。時刻 29 に ABC 丼が届く。
- 時刻 30 に ARC カレーを注文する。時刻 50 に ARC カレーが届く。
- 時刻 50 に AGC パスタを注文する。57 に AGC パスタが届く。
- 時刻 60 に ATC ハンバーグを注文する。時刻 180 に ATC ハンバーグが届く。
- 時刻 180 に APC ラーメンを注文する。 時刻 215 に APC ラーメンが届く。

これより早く最後の料理が届くような方法は存在しません。

入力例2

101

86

119

10857

出力例2

481

AGC パスタ→ARC カレー→ATC ハンバーグ→APC ラーメン→ABC 丼の順に注文することにすると、 各料理の最も早い注文時刻・届く時刻は以下の通りになります。

- 時刻 0 に AGC パスタを注文する。時刻 119 に AGC パスタが届く。
- 時刻 120 に ARC カレーを注文する。時刻 206 に ARC カレーが届く。
- 時刻 210 に ATC ハンバーグを注文する。時刻 267 に ATC ハンバーグが届く。
- 時刻 270 に APC ラーメンを注文する。時刻 378 に APC ラーメンが届く。
- 時刻380にABC丼を注文する。時刻481にABC丼が届く。

これより早く最後の料理が届くような方法は存在しません。

入力例3

123			
123 123 123 123 123			
123			
123			
123			

出力例3

643

これが入力される最大のケースです。

C - Five Transportations

実行時間制限: 2 sec / メモリ制限: 1024 MB

配点: 300点

問題文

AtCoder 社は成長し、2028 年になってついに 6 つの都市 (都市 1,2,3,4,5,6) からなる AtCoder 帝国を作りました!

AtCoder 帝国には5つの交通機関があります。

- 電車:都市1から2まで1分で移動する。1つの電車にはA人まで乗ることができる。
- バス:都市2から3まで1分で移動する。1つのバスにはB人まで乗ることができる。
- 9クシー:都市3から4まで1分で移動する。1つの9クシーにはC人まで乗ることができる。
- 飛行機:都市4から5まで1分で移動する。1つの飛行機にはD人まで乗ることができる。
- 船:都市5から6までを1分で移動する。1つの船にはE人まで乗ることができる。

それぞれの交通機関は、各整数時刻 $(0,1,2,3,\ldots)$ に、都市から出発します。

いま、N 人のグループが都市1 におり、全員都市6 まで移動したいです。全員が都市6 に到着するまでに最短で何分かかるでしょうか?

なお、乗り継ぎにかかる時間を考える必要はありません。

制約

- $1 \le N, A, B, C, D, E \le 10^{15}$
- 入力中の値はすべて整数である。

入力

入力は以下の形式で標準入力から与えられる。

N

 \boldsymbol{A}

B

C

D

 \boldsymbol{E}

出力

全員が都市6に移動するのに必要な最小の時間を分単位で出力せよ。

入力例1

 5 3 2 4 3 5 				
 5 3 2 4 3 5 				
 3 2 4 3 5 	5			
2 4 3 5	3			
4 3 5	2			
3 5	4			
5	3			
	5			

7

例えば、次のような移動方法が考えられます。

はじめ、次の画像のように、N=5人が都市1にいます。



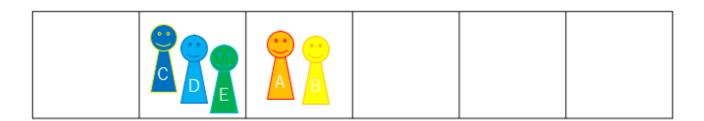
TIME: 0

1分後までに、3人が都市1から都市2に電車で移動します。ここで、電車は一度に3人までしか運べないことに注意してください。



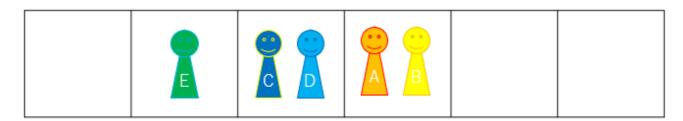
TIME: 1

2分後までに、残り2人が都市1から都市2に電車で移動し、都市2にいた3人のうち2人がバスで都市3に移動します。ここで、バスは一度に2人までしか運べないことに注意してください。



TIME: 2

3分後までに、2人が都市2から都市3にバスで移動し、2人が都市3から都市4にタクシーで移動します。



TIME: 3

それ以降は、まだ都市6に到着していない人が止まらずに移動し続けると、全員が7分で都市6に着くことができます。

また、6分以内で全員が都市6に着く方法はありません。

入力例2

10

123 123

123

123

123

出力例2

5

どの交通機関も N=10 人を 1 回で運ぶことができます。 したがって、全員が止まらずに移動し続ければ 5 分で都市 6 に着くことができます。

入力例3

10000000007

2

3

5

7

11

5000000008

入力・出力が32ビット整数型に収まらない可能性があることに注意してください。

D-Cake 123

実行時間制限: 2 sec / メモリ制限: 1024 MB

配点: 400 点

問題文

AtCoder 洋菓子店は数字の形をしたキャンドルがついたケーキを販売しています。 ここには1,2,3の形をしたキャンドルがついたケーキがそれぞれX種類、Y種類、Z種類あります。 それぞれのケーキには「美味しさ」という整数の値が以下のように割り当てられています。

- 1の形のキャンドルがついたケーキの美味しさはそれぞれ A_1, A_2, \ldots, A_X
- 2の形のキャンドルがついたケーキの美味しさはそれぞれ B_1, B_2, \ldots, B_V
- 3の形のキャンドルがついたケーキの美味しさはそれぞれ C_1, C_2, \ldots, C_Z

高橋君は ABC 123 を記念するために、1,2,3 の形のキャンドルがついたケーキを1つずつ買うことにしました。

そのようにケーキを買う方法は $X \times Y \times Z$ 通りあります。

これらの選び方を3つのケーキの美味しさの合計が大きい順に並べたとき、 $1,2,\ldots,K$ 番目の選び方でのケーキの美味しさの合計をそれぞれ出力してください。

制約

- $1 \le X \le 1000$
- 1 < Y < 1000
- $1 \le Z \le 1000$
- $1 \le K \le \min(3000, X \times Y \times Z)$
- $1 \le A_i \le 10\ 000\ 000\ 000$
- $1 \le B_i \le 10\ 000\ 000\ 000$
- $1 < C_i < 10\ 000\ 000\ 000$
- 入力中の値はすべて整数である。

入力

入力は以下の形式で標準入力から与えられる。

X Y Z K

 $A_1 A_2 A_3 \ldots A_X$

 $B_1 B_2 B_3 \ldots B_Y$

 $C_1 C_2 C_3 \ldots C_Z$

出力

i行目に、問題文中のi番目の値を出力せよ。

入力例1

2 2 2 8 4 6 1 5 3 8

出力例1

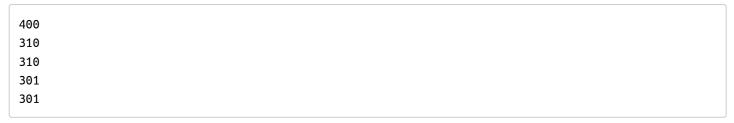
19
17
15
14
13
12
10
8

3つのケーキの選び方は $2 \times 2 \times 2 = 8$ 通りあり、それらをケーキの美味しさの合計が大きい順に並べると以下の通りです。

- (A_2, B_2, C_2) : 6 + 5 + 8 = 19
- (A_1, B_2, C_2) : 4 + 5 + 8 = 17
- (A_2, B_1, C_2) : 6 + 1 + 8 = 15
- (A_2, B_2, C_1) : 6 + 5 + 3 = 14
- (A_1, B_1, C_2) : 4 + 1 + 8 = 13
- (A_1, B_2, C_1) : 4 + 5 + 3 = 12
- (A_2, B_1, C_1) : 6 + 1 + 3 = 10
- (A_1, B_1, C_1) : 4 + 1 + 3 = 8

入力例2

3 3 3 5 1 10 100 2 20 200 1 10 100



美味しさの合計が同じになる組み合わせが複数ある可能性もあります。例えば、このテストケースで (A_1,B_3,C_3) を選ぶときと (A_3,B_3,C_1) を選ぶときはともに、美味しさの合計が301 となります。しかし、これらは異なる選び方であるため、出力には301 が2 回出現します。

入力例3

10 10 10 20

7467038376 5724769290 292794712 2843504496 3381970101 8402252870 249131806 6310293640 6690322794 6082 257488

1873977926 2576529623 1144842195 1379118507 6003234687 4925540914 3902539811 3326692703 484657758 287 7436338

4975681328 8974383988 2882263257 7690203955 514305523 6679823484 4263279310 585966808 3752282379 6205 85736

出力例3

23379871545			
22444657051			
22302177772			
22095691512			
21667941469			
21366963278			
21287912315			
21279176669			
21160477018			
21085311041			
21059876163			
21017997739			
20703329561			
20702387965			
20590247696			
20383761436			
20343962175			
20254073196			
20210218542			
20150096547			

入力・出力は32ビット整数に収まらない可能性があることに注意してください。